

令和3(2021)年度

事業報告書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

令和3(2021)年度 事業報告書

本協会は、長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」の下、令和3(2021)年度を初年度とする5か年の中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施した。

令和3(2021)年度は前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、オンラインによる日本語教室の開催、外国人受入企業の支援に向けた取り組みや協会ホームページの全面リニューアルに着手したほか、外国人材活躍支援資金等(寄附金)を活用し、留学生の地元就職支援などを行った。

また前年度、対面での開催ができなかった「留学生日本語弁論大会」や「日本語おしゃべり発表会」、「留学生と日本人の交流会」は、基本的な感染対策を図った上で、入場者数を制限し、開催した。

一方で、福岡県の2度にわたる緊急事態宣言(5/12～6/20、8/20～9/30)期間中、外国人相談窓口は電話やメールによる対応を原則とし、医療通訳や行政通訳の派遣を一時休止した。併せて、協会内の交流スペースや図書コーナーは閉鎖し、在宅勤務や時差出勤による出勤者数の調整を行った。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1)外国人市民への相談対応

ア 多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの相談

- 八幡西区コムシティ及び小倉北区役所で、外国語相談員が日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語はタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により最大22言語の相談に対応した。
- 多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」が関係機関と連携し、長期的なフォローを行った。
- 日本語コーディネーターが「生活者」、「子ども」、「就労者」を対象とした日本語教育に関する相談に、外国語相談員と連携して対応した。

対応日時:月曜～金曜日 9:30～16:00

相談者数 1,011人 相談件数 1,120件

○相談通訳コーディネーターが通訳者の育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援を行った。(緊急事態宣言期間中は派遣停止)

※行政通訳派遣(市の委託事業)

対応件数: 182 件(内派遣件数 51 人)

言語別件数: 英語 65 件、中国語 55 件、ベトナム語 48 件、タガログ語 11 件

インドネシア語 1 件、韓国語 1 件、ネパール語 1 件

内容別件数: 区役所(行政手続)関係 101 件、子育て支援(子ども関係)39 件、子育て支援(母親関係)17 件、保健所業務 9 件、その他 16 件

※医療通訳派遣(協会の法人賛助会員は無料)

派遣件数: 9 件

言語別件数: 英語 1 件、中国語 5 件、ベトナム語 3 件

診療科別件数: 消化器内科 3 件、内科 5 件、産婦人科 4 件、循環器科 1 件、眼科 2 件(複数科受診を含む)

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門相談会を実施した。

○行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談会」 1 回/月 相談件数:44 件

○弁護士による「法律相談」 1 回/月 相談件数:13 件

○臨床心理士による「心理カウンセリング」 3 回/年 相談件数: 3 件

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市等で構成する「外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターの業務にフィードバックした。

開催日:11月 12 日(オンライン) 参加者 29 人

2 月 25 日(西日本総合展示場) 参加者 23 人

出席機関:福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、福岡出入国在留管理局、北九州市(区保健福祉課、国際政策課等)

(2)多言語による情報提供の改善

ア ホームページ等による広報

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応した協会のホームページのリニューアルに取り組み、フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて効果的な情報発信を行った。

※ホームページアクセス件数(リニューアル前)

日本語 25,907 件、英語 2,266 件、中国語 1,206 件、韓国語 707 件

ベトナム語 1,965 件、やさしい日本語 1,793 件 合計 33,844 件

イ 災害時多言語支援センターの運営(市の委託事業)

市との協定に基づき大規模災害発生時に開設する「災害時多言語支援センター」運営マニュアルの作成に向けて、先進地(佐賀県国際交流協会・熊本市国際交流振興事業団)調査を行い、北九州市国際政策課と具体的な内容の検討を行った。

(3)日本語教育の推進とICT活用

ア 日本語教室の運営

地域で暮らす外国人、児童生徒を対象とした協会主催の日本語教室はICTを活用したオンライン授業も積極的に行った。

併せて、中上級レベル(N2、N3)の学習者を対象とした日本語教室を開催した。

(ア)外国人生活者支援

○「ママとパパのための日本語教室」(オンライン)

開催期間:5月13日～3月4日(毎週木・金曜日 10:30-12:00)

開催回数:60回 参加延べ人数:438人

参加者の国籍:シンガポール、ドミニカ共和国、ハンガリー、パレスチナ、バングラデシュ、フィリピン、インドネシア、中国、韓国、台湾、スペイン、タイ、インド、ネパール、ベトナム、カメルーン、香港、イラン、モンゴル、イタリア、スペイン

○「はじめてのにほんご」(オンライン)

開催期間:9月6日～2月28日(毎週月・木曜日 10:30-12:00)

開催回数:30回 参加延べ人数:53人

参加者の国籍:スペイン、パキスタン、中国、フィリピン、ネパール、タイ、韓国

(イ)外国人子ども支援(児童生徒を対象にした日本語教室)・・・「にほんごひろば」(オンライン)

開催期間:5月29日～3月26日(毎週土曜日 10:30-11:30)

開催回数:34回 学習者の国籍:中国、モンゴル、カメルーン、インドネシア、香港

登録学習者数:12人(令和4年3月31日時点) 活動ボランティア数:13人

(ウ)中上級のための日本語教室(オンライン)

開催期間:令和3年3月2日～12月4日(毎週火・木・土曜日)

開催回数:128回 参加延べ人数:749人

参加者の国籍:ベトナム、中国、インドネシア、タイ

※人材バンクへの登録:5人

イ 地域日本語教室との連携

(ア)地域日本語教室への支援

市内で日本語教室を運営している13の教室・団体の課題や問題点の把握に努め、必要な支援を行い、連携して日本語教育を推進した。

○地域の日本語教室 12 教室に対して運営資金の一部を助成(65 万円)

○教室の活動状況アンケート(毎月)、学習者・ボランティアに関する調査(8 月)

○ボランティア向け研修会(オンライン)の開催

テーマ:初級レベルからできる会話力アップのための活動

開催日:2 月 23 日 参加者:15 人

講師:宮永 愛子氏(山口大学留学生センター 准教授)

○地域日本語教室との意見交換会

開催場所:北九州国際交流協会交流スペース(対面とオンラインのハイブリッド形式)

開催日:2 月 11 日 参加者:11 教室の代表者・メンバー計 14 人

外部専門家:張 娜氏(北九州 YMCA 学院 校務主任)

(イ)第 12 回日本語おしゃべり発表会の開催

地域日本語教室と連携し、外国人学習者のモチベーションの向上、教室間の情報共有・相互理解の促進を目的として発表会を開催した。

開催日:2 月 13 日 開催場所:北九州市立子どもの館 子どもホール

発表者:20 人(ベトナム 5 人、インドネシア 6 人、中国 1 人、台湾 2 人、タイ 1 人、ナイジェリア 1 人、メキシコ 2 人、フィリピン 2 人)

来場者:17 人(入場制限)

ウ 外国人受入企業の支援

技能実習生の受入企業に日本語講師を派遣したほか、外国人受入企業のニーズの把握に努めるとともに、日本語学習支援に関する研究を行った。

○技能実習生受入企業への日本語講師派遣(当協会の人材バンク登録)

講座:日本語能力試験対策講座(オンライン)

開催期間:9 月 22 日~12 月 1 日 毎週水曜日夜の時間帯

開催回数:10 回 参加者:ベトナム人技能実習生 10 人

○「日本語教育プログラム」(外国人就労者受入向け)の作成

送付先:北九州市内の 6 つの監理団体

○ベトナム人技能実習生へのヒアリング

実施日:1 月 30 日 実施場所:ベトナム食材店 DUC BEO MART KUROSAKI

対象者:ベトナム人技能実習生(来日 2 年以上) 9 人

○外国人就労者受入企業の担当者(日本語学習支援者)向け研修

テーマ:「知っておきたい! 外国人就労者とのコミュニケーション」研修

開催日:2 月 9 日 講師:株式会社インカレックス 代表講師 AYA(佐藤綾子)氏

参加者:企業・監理団体 11 社・15 人、日本語教師 11 人

○外部講師(NPO 法人日本語コミュニティ代表 杉原賢治氏)によるアドバイジング
テーマ:ベトナム人技能実習生の送り出し機関・受け入れ企業での日本語学習支援
開催日:2月15日 参加者:協会職員 5人

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1)外国人材の発掘・情報収集

外国人の視点から地域の魅力を発信できる人材の発掘・情報を収集し、人材登録に向けた準備を行った。

(2)留学生等に対する地元就職支援の拡充

ア 地元企業への就職等促進

(ア)市内進学者奨励金(留学生等支援資金の活用)

市内の日本語学校を卒業し、市内の他の教育機関(専門学校、大学)に進学した留学生を対象に、申請のあった市内に住民登録を有する留学生全員(165人)に奨励金2万円を交付した。

(イ)市内企業就職者奨励金(外国人材活躍支援資金の活用)

北九州市内の大学や日本語学校及び専門学校を卒業し、市内に本社または事業所を有する企業に就職し、市内に住民登録を有する留学生(56人)に5万円を支給した。

(ウ)留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した。

イ 関原北九州大連友好基金の重点化

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、市内の大学等に在籍している留学生に交付する奨学金の対象者を拡充し、北九州市立大学大学院及び早稲田大学大学院、西日本工業大学に通う留学生(4人)に、月額2万円を支給した。

ウ 第29回留学生日本語弁論大会の開催

留学生の日本語学習の意欲増進と市民が留学生を理解する一助とするため、北九州小倉ライオンズクラブ、(公社)八幡法人会、北九州中国友愛の会の協賛を得て、弁論大会を開催した。

開催日:12月12日 開催場所:北九州市立子どもの館 子どもホール

発表者:13人(中国6人、ベトナム3人、ネパール2人、スリランカ1人、マレーシア1人)

来場者:20人(入場制限)

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1)人材バンク登録の推進

行政・医療通訳のほか日本語教育や外国語相談の担い手として、外国人市民を含めて人材バンクの登録を進め、人材の活用を図った。

- 翻訳スタッフ・・・協会や市からの依頼により翻訳を行う(11人)
- 日本語指導講師・・・日本語学習の指導を行う(6人)
- 外国語相談サポーター・・・協会窓口で相談対応や翻訳を行う(1人)

(2)自主防災組織等への参画促進(市の委託事業)

ア 外国人市民のための防災研修会

開催日:12月10日 開催場所:北九州市消防局市民防災センター
講師:八幡西消防署予防課職員 参加者数:12人(日本語教室学習者とその家族)
内容:火災時や急病時の対応の講義、消火器の使い方・消火体験・煙体験などの実習

イ 災害時通訳サポーターを対象とした研修(オンライン)

開催日:1月22日 講師:協会日本語コーディネーター
参加者:災害時通訳サポーター、福岡県職員等 18人
内容:「災害時のやさしい日本語」についての講義、グループ演習

※新型コロナウイルス感染症の影響から中止された事業

「災害時外国人支援情報コーディネーター」養成研修への職員派遣

(3)民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア)北九州国際交流団体ネットワーク(キーネット:加盟 57 団体)の事務局支援

総会 6月11日(書面開催)
役員会 3回開催
研修会 1月29日(子どもの館 子どもホール) 56人参加
パネル展 11月8日～22日(ひとみらいプレイス) 参加団体 17 団体

(イ)民間団体の活動支援

○多文化共生の地域づくりに取り組む団体に対して事業経費の一部を助成した。

助成団体:学研ボランティアの会 助成金額 10 万円

○事業の共催、後援及び広報支援等を行った。 共催:2件 後援:7件

イ 国際理解教育の推進

(ア)国際理解教育講師の派遣・紹介

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際財団との協働事業として、外国人市民等を講師として、小・中・高等学校や市民センター等に派遣する事業に協力した。

【派遣した市内の学校及び講師数】 14校 37人

(イ)協会職員の講師派遣

小中学校や市民センター、他の自治体等に講師を派遣し、自国の生活や文化等の紹介、本協会の取り組みについて講義を行った。

○国際理解推進員(派遣回数 3回)

- 4月14日 北九州市職員研修所 新規採用職員研修
- 6月17日 クロスFM(ファンファン北九州) ラジオ出演
- 12月2日 黒崎中学校 「日本で働く外国人の話聞き国際理解を深めよう」

○外国人支援担当主任(多文化ソーシャルワーカー)(派遣回数 9回)

- 9月14日 公益財団法人かながわ国際交流財団 「日本語学習支援実践者(リーダー的人材)研修」(オンライン)ANADO ファシリテーター
- 9月15日 西南女学院大学 「グローバル社会と地域母子保健」
- 10月27日 小倉北区DV関係機関連絡会議 外国人支援ケースに関する報告
- 10月28日 公益財団法人山口県国際交流協会
「外国人住民等相談窓口対応研修会」(オンライン)
- 11月5日 全国市町村国際文化研修所
「多文化ソーシャルワーカーの配置とその役割」
- 11月17日 西南女学院大学 「北九州市における多文化共生の取り組み」
- 12月8日 特定非営利活動法人 CINGA(国際活動市民中心)
「全国外国人相談センター意見交換会」登壇(オンライン)
- 12月10日 公益財団法人佐賀県国際交流協会 「日本語ボランティア研修会」
- 3月13日 日本ソーシャルワーカー連盟
「多文化ソーシャルワークシンポジウム」(オンライン)

※令和3年度「文化庁日本語教育大会」(WEB大会)でのインタビュー

「総括コーディネーターってこんな人

～都道府県・政令指定都市が取り組む体制づくりにおける役割を探る～」

※事例報告書フォーカス記事の寄稿

令和2年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」

○相談通訳コーディネーター(派遣回数 1回)

- 9月10日 県立若松高等学校 定時制教室における国際理解についての講演

○日本語コーディネーター(派遣回数 3回)

- 12月22日 北九州市役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」
1月29日 福岡県人権研究所会員 「やさしい日本語研修」(オンライン)
2月22日 北九州市内の保育所(園)、認定こども園、地域型保育事業所の職員
「社会福祉研修所やさしい日本語研修」(オンライン)

ウ 多文化共生の地域づくり

(ア)英語で語る自分の国(開催回数5回、参加延べ人数68人)

- 5月15日 マレーシア 11人(オンライン)
7月3日 モロッコ 17人
8月21日 フランス 8人(オンライン)
10月2日 ガーナ 19人(オンライン)
2月5日 ベラルーシ 13人

(イ)多文化共生啓発(外国人市民と相互理解を深める交流会)

- 「レッツ トーク! ☆」(オンライン) 開催日:9月11日 参加者数:8人
○留学生と日本人の交流会 開催日:3月19日 開催場所:交流スペース
参加者数:25人(留学生とその家族16人、ホストファミリーその他ボランティア9人)

(ウ)グローバル人材育成事業(市の委託事業)

- 「われらの北九州 好きっちゃ!」(オンライン)
北九州市在住の外国人から見た市の魅力を語るトークイベントを実施した。
開催日:6月19日 参加者17人
講師:姜 志守(韓国)、ナタリア・シャンドリーカブア氏(ベラルーシ)、
スリラーム・ラジャラーム(シンガポール)

○フューチャーリーダーズ

- 中学生・高校生・大学生を対象に、広い視野と自由な発想を身につけ未来を切り拓くヒントとなる講演会を実施した。また、講演前にはミクスタ見学ツアーを行った。
開催日:11月6日
場所:ミクニワールドスタジアム北九州 記者会見室ほか
講師:ギラヴァンツ北九州 クラブコーディネーター 池元 友樹氏
テーマ:「夢を追って行きついた場所」 受講者:23人

○アジアの“今”を知りたい ~タイ~

- アジア諸国の第1回目として、タイ王国と北九州市との繋がりを観光以外の側面からも知ることを目的として講演会を実施した。
開催日:11月20日 場所:コムシティ7階 北九州市立子どもの館 子どもホール

講師：在福岡タイ王国総領事館 ポーンパン プーピンジャイ領事(通訳：永野 瑞枝氏)
タイ王国政府観光庁福岡事務所 ルーンティップ ワンパティカン キムラ所長
大森 優華氏

受講者：68人(一般58人、タイ人留学生およびインターン生等10人)

○国際交流まつり～世界のママ&パパマルシェ～

ママパパ日本語教室参加者をはじめとした外国人市民が、「ひとみらい交流ウィーク」期間中に賑わいづくりにつながるバザーを開催した。

開催日：11月20日 出品国：5カ国 7ブース 来場者：約280人

○英語で遊ぼう！英語で学ぼう！（オンライン）

ゲームや会話をしながら英語に親しみ、外国人とのコミュニケーションや海外の文化に触れる機会を提供した。

開催日：12月18日

講師：北九州市立小学校及び中学校のALT、国際理解推進員 9人

参加者：小学生19人(英語で遊ぼう！)、中学生10人(英語で学ぼう！)

(エ)多文化共生の担い手育成

○協会事業を支える人材の育成

【第1回】開催日：11月30日 受講者：14人 会場：交流スペース

内容：行政通訳基礎研修(ベトナム語、タガログ語、タイ語)

講師：北九州国際交流協会 多文化ソーシャルワーカー 矢野花織

【第2回】開催日：2月13日(オンライン) 中国語スキルアップ 受講者：7人

講師：日本公共通訳支援協会 副代表理事 三木 紅虹氏

【第3回】開催日：2月26日(オンライン) 英語スキルアップ 受講者：10人

講師：AMDA 国際医療情報センター 相談員 宮城 京子氏

【第4回】開催日：2月26日(オンライン) ベトナム語スキルアップ 受講者：6人

講師：日本公共通訳支援協会 通訳ロールプレイ講師 飯田 まどか氏

○日本語教室を支えるボランティアの参画促進

「にほんごひろば」オンライン教室を運営するボランティアのスキルアップ研修(オンライン)

開催日：7月10日 対象者：活動経験のあるボランティア(9人)

開催日：12月11日、12月18日、1月15日(各1時間、全3回連続講座)

対象者：新規にボランティアとして活動できる学生(14人)

○インターンシップ実習生の受入

職業意識の向上と多文化共生の理解を深めるため協会独自で大学生を受入れ、実習を行った。(北九州市の依頼による受入は新型コロナウイルス感染症により中止)

実習生：北九州市立大学外国語学部国際関係学科2～3年生 3人

実習期間：2月12日(土)～14日(月) 3日間

実習内容：協会事業の学習、日本語教室のアシスタント、外国人相談員との意見交換

○協会ボランティア登録状況(2022年3月31日現在 言語内訳は重複あり)

①行政通訳ボランティア(登録:73人)

中国語 27人、英語 15人、ベトナム語 8人、韓国語 7人、インドネシア語 5人、タガログ語 4人、タイ語 4人、ネパール語 3人、モンゴル語 2人、ドイツ語 1人、ロシア語 1人

②医療通訳スタッフ(登録:41人) 中国語 22人、英語 14人、韓国語 6人

③多言語ママパパサポーター(登録:19人) 中国語 12人、英語 4人、韓国語 3人

④災害時通訳サポーター(登録 59人)

中国語 24人、英語 11人、ベトナム語 8人、韓国語 5人、タガログ語 4人、インドネシア語 3人、タイ語 3人、モンゴル語 2人、ネパール語 1人、ロシア語 1人

⑤専門家相談通訳ボランティア(登録:4人)

⑥ホストファミリーボランティア(登録:42家庭)

⑦にほんごひろばボランティア(登録 13人)

《 協会の広報活動 》

○北九州市が発行する市政だよりに、協会事業やイベント情報の掲載(24件)

○メールマガジンによる情報提供(月2回)

協会からのお知らせやイベント情報を登録者へ配信(メールマガジン登録者数:565人)

○日本語教室やワンストップインフォメーション PR パンフレットの作成・配布(多言語対応)

○「ボランティアウィーク2021(社会福祉協議会)」での協会事業の紹介(スライド映像)

期間:10月16日～23日 会場:ウェルとばた

○「多文化共生わいわい祭り(北九州YMCAとの共催)」での協会事業の紹介

期間:2月1日～28日(Web上での動画配信)

令和3(2021)年度事業報告の附属明細書

1 事業報告の内容を補足する重要な事項

なし

令和3(2021)年度

決算報告書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

令和3(2021)年度 貸借対照表

令和4(2022)年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,376,077	5,719,710	4,656,367
未収金	2,011,900	4,096,455	△ 2,084,555
前払費用	17,500	44,500	△ 27,000
流動資産合計	12,405,477	9,860,665	2,544,812
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	38,421,808	41,761,808	△ 3,340,000
外国人材活躍支援資金積立資産	11,300,000	10,000,000	1,300,000
特定資産合計	49,721,808	51,761,808	△ 2,040,000
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1,611,222	2,182,845	△ 571,623
投資有価証券	13,374,200	18,927,800	△ 5,553,600
保証金	0	95,700	△ 95,700
長期性預金	0	548,000	△ 548,000
その他固定資産合計	14,985,423	21,754,346	△ 6,768,923
固定資産合計	364,707,231	373,516,154	△ 8,808,923
資産合計	377,112,708	383,376,819	△ 6,264,111
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,586,832	3,614,609	1,972,223
預り金	564,460	490,566	73,894
流動負債合計	6,151,292	4,105,175	2,046,117
負債合計	6,151,292	4,105,175	2,046,117
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	149,721,808	151,761,808	△ 2,040,000
指定正味財産合計	149,721,808	151,761,808	△ 2,040,000
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(49,721,808)	(51,761,808)	(△ 2,040,000)
2. 一般正味財産	221,239,608	227,509,836	△ 6,270,228
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	370,961,416	379,271,644	△ 8,310,228
負債及び正味財産合計	377,112,708	383,376,819	△ 6,264,111

令和3(2021)年度 正味財産増減計算書

令和3(2021)年4月1日から令和4(2022)年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,308,244	2,308,244	0
基本財産受取利息	2,308,244	2,308,244	0
特定資産運用益	526	5,424	△ 4,898
特定資産受取利息	526	5,424	△ 4,898
受取会費	609,000	438,000	171,000
受取賛助会費	609,000	438,000	171,000
事業収益	2,362,525	3,707,055	△ 1,344,530
外国人市民の防災支援受託事業収益	409,200	407,220	1,980
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	997,700	1,003,035	△ 5,335
人材育成受託事業収益	350,625	382,800	△ 32,175
外国人との共生社会環境整備事業収益	0	1,914,000	△ 1,914,000
ウライ付ひまわりプロジェクト管理業務受託事業収益	605,000	0	605,000
受取補助金等	70,368,000	71,297,860	△ 929,860
受取北九州市補助金	61,118,000	61,118,000	0
受取国庫補助金	9,000,000	10,000,000	△ 1,000,000
受取助成金	250,000	179,860	70,140
受取寄付金	7,052,000	3,281,219	3,770,781
受取寄付金	52,000	247,459	△ 195,459
受取寄付金振替額	7,000,000	3,033,760	3,966,240
雑収益	1,055,969	1,491,824	△ 435,855
受取利息	42	513	△ 471
その他雑収益	1,055,927	1,491,311	△ 435,384
経常収益計	83,756,264	82,529,626	1,226,638
(2) 経常費用			
事業費	82,516,471	80,495,140	2,021,331
役員報酬	6,157,957	6,215,817	△ 57,860
給料手当	35,448,198	26,120,923	9,327,275
臨時雇賃金	4,256,240	10,682,055	△ 6,425,815
福利厚生費	8,288,939	7,490,437	798,502
材料費	25,000	41,633	△ 16,633
奨学金	960,000	1,047,620	△ 87,620
留学生等支援助成金	3,400,000	4,510,000	△ 1,110,000
外国人人材活躍支援助成金	3,448,159	0	3,448,159
旅費交通費	707,670	1,108,076	△ 400,406
通信運搬費	2,274,285	2,365,106	△ 90,821
減価償却費	559,385	412,384	147,001
消耗什器備品費	247,852	2,176,354	△ 1,928,502
消耗品費	1,032,838	1,984,262	△ 951,424
車両費	174,733	77,304	97,429
印刷製本費	353,110	2,506,668	△ 2,153,558
光熱水料費	2,004,536	1,973,665	30,871
リース料	845,835	888,735	△ 42,900
使用料賃借料	3,867,189	3,471,237	395,952
災害保険料	111,612	153,334	△ 41,722
報償費	2,979,370	3,857,180	△ 877,810
租税公課	4,000	4,600	△ 600
支払負担金	250,000	250,000	0
委託費	4,270,828	1,746,165	2,524,663
図書費	163,333	508,635	△ 345,302
食糧費	41,866	34,666	7,200
雑費	643,536	868,284	△ 224,748
管理費	2,069,177	2,131,114	△ 61,937
役員報酬	344,103	342,148	1,955
給料手当	208,512	174,178	34,334
福利厚生費	128,067	129,459	△ 1,392
通信運搬費	21,481	13,496	7,985
減価償却費	12,238	3,583	8,655
消耗品費	54,359	104,720	△ 50,361
印刷製本費	3,960	24,145	△ 20,185
光熱水料費	102,808	101,099	1,709
リース料	44,517	44,517	0
使用料賃借料	514,473	513,386	1,087
支払負担金	100,000	100,000	0
委託費	462,000	462,000	0
交際費	11,359	14,659	△ 3,300
雑費	61,300	103,724	△ 42,424
経常費用計	84,585,648	82,626,254	1,959,394
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 829,384	△ 96,628	△ 732,756
投資有価証券評価損益等	△ 5,480,844	△ 414,844	△ 5,066,000
評価損益等計	△ 5,480,844	△ 414,844	△ 5,066,000
当期経常増減額	△ 6,310,228	△ 511,472	△ 5,798,756
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金	40,000	40,000	0
受取寄付金振替額	40,000	40,000	0
経常外収益計	40,000	40,000	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	2	△ 2
什器備品除却損	0	2	△ 2
経常外費用計	0	2	△ 2
当期経常外増減額	40,000	39,998	2
当期一般正味財産増減額	△ 6,270,228	△ 471,474	△ 5,798,754
一般正味財産期首残高	227,509,836	227,981,310	△ 471,474
一般正味財産期末残高	221,239,608	227,509,836	△ 6,270,228
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	5,000,000	5,000,000	0
受取民間寄付金	5,000,000	5,000,000	0
一般正味財産への振替額	△ 7,040,000	△ 3,073,760	△ 3,966,240
一般正味財産への振替額	△ 7,040,000	△ 3,073,760	△ 3,966,240
当期指定正味財産増減額	△ 2,040,000	1,926,240	△ 3,966,240
指定正味財産期首残高	151,761,808	149,835,568	1,926,240
指定正味財産期末残高	149,721,808	151,761,808	△ 2,040,000
III 正味財産期末残高	370,961,416	379,271,644	△ 8,310,228

令和3(2021)年度 正味財産増減計算書内訳表
 令和3(2021)年 4月 1日から令和4(2022)年 3月31日まで

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	多文化共生推進事業	関原基金事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益							
基本財産受取利息	0	877,244	1,330,800	2,208,044	100,200	0	2,308,244
基本財産運用益計	0	877,244	1,330,800	2,208,044	100,200	0	2,308,244
特定資産運用益							
特定資産受取利息	526	0	0	526	0	0	526
特定資産運用益計	526	0	0	526	0	0	526
受取会費							
賛助会員受取会費	0	0	609,000	609,000	0	0	609,000
受取会費計	0	0	609,000	609,000	0	0	609,000
事業収益							
外国人市民の防災支援受託事業収益	409,200	0	0	409,200	0	0	409,200
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	997,700	0	0	997,700	0	0	997,700
人材育成受託事業収益	350,625	0	0	350,625	0	0	350,625
ウクライナひまわりプロジェクト管理業務受託事業収益	605,000	0	0	605,000	0	0	605,000
事業収益計	2,362,525	0	0	2,362,525	0	0	2,362,525
受取補助金等							
受取北九州市補助金	59,149,023	0	0	59,149,023	1,968,977	0	61,118,000
受取国庫助成金	9,000,000	0	0	9,000,000	0	0	9,000,000
受取助成金	250,000	0	0	250,000	0	0	250,000
受取補助金等計	68,399,023	0	0	68,399,023	1,968,977	0	70,368,000
受取寄付金							
受取寄付金	0	0	52,000	52,000	0	0	52,000
受取寄付金振替額	7,000,000	0	0	7,000,000	0	0	7,000,000
受取寄付金計	7,000,000	0	52,000	7,052,000	0	0	7,052,000
雑収益							
受取利息	39	3	0	42	0	0	42
その他雑収益	1,055,927	0	0	1,055,927	0	0	1,055,927
雑収益計	1,055,966	3	0	1,055,969	0	0	1,055,969
経常収益計	78,818,040	877,247	1,991,800	81,687,087	2,069,177	0	83,756,264
(2) 経常費用							
事業費							
役員報酬	6,157,957	0	0	6,157,957	0	0	6,157,957
給料手当	35,239,686	208,512	0	35,448,198	0	0	35,448,198
臨時雇賃金	4,256,240	0	0	4,256,240	0	0	4,256,240
福利厚生費	8,210,203	78,736	0	8,288,939	0	0	8,288,939
材料費	25,000	0	0	25,000	0	0	25,000
奨学金	0	960,000	0	960,000	0	0	960,000
留学生等支援助成金	3,400,000	0	0	3,400,000	0	0	3,400,000
外国人人材活躍支援助成金	3,448,159	0	0	3,448,159	0	0	3,448,159
旅費交通費	707,670	0	0	707,670	0	0	707,670
通信運搬費	2,273,109	1,176	0	2,274,285	0	0	2,274,285
減価償却費	559,385	0	0	559,385	0	0	559,385
消耗什器備品費	247,852	0	0	247,852	0	0	247,852
消耗品費	1,032,838	0	0	1,032,838	0	0	1,032,838
車両費	174,733	0	0	174,733	0	0	174,733
印刷製本費	353,110	0	0	353,110	0	0	353,110
光熱水料費	2,004,536	0	0	2,004,536	0	0	2,004,536
リース料	845,835	0	0	845,835	0	0	845,835
使用料賃借料	3,867,189	0	0	3,867,189	0	0	3,867,189
災害保険料	111,612	0	0	111,612	0	0	111,612
報償費	2,979,370	0	0	2,979,370	0	0	2,979,370
租税公課	4,000	0	0	4,000	0	0	4,000
支払負担金	250,000	0	0	250,000	0	0	250,000
委託費	4,270,828	0	0	4,270,828	0	0	4,270,828
図書費	163,333	0	0	163,333	0	0	163,333
食糧費	41,866	0	0	41,866	0	0	41,866
雑費	643,536	0	0	643,536	0	0	643,536
事業費計	81,268,047	1,248,424	0	82,516,471	0	0	82,516,471
管理費							
役員報酬					344,103	0	344,103
給料手当					208,512	0	208,512
福利厚生費					128,067	0	128,067
通信運搬費					21,481	0	21,481
減価償却費					12,238	0	12,238
消耗品費					54,359	0	54,359
印刷製本費					3,960	0	3,960
光熱水料費					102,808	0	102,808
リース料					44,517	0	44,517
使用料賃借料					514,473	0	514,473
支払負担金					100,000	0	100,000
委託費					462,000	0	462,000
交際費					11,359	0	11,359
雑費					61,300	0	61,300
管理費計					2,069,177	0	2,069,177
経常費用計	81,268,047	1,248,424	0	82,516,471	2,069,177	0	84,585,648
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,450,007	△ 371,177	1,991,800	△ 829,384	0	0	△ 829,384
投資有価証券評価損益等	△ 3,512,100	△ 1,968,744	0	△ 5,480,844	0	0	△ 5,480,844
評価損益等計	△ 3,512,100	△ 1,968,744	0	△ 5,480,844	0	0	△ 5,480,844
当期経常増減額	△ 5,962,107	△ 2,339,921	1,991,800	△ 6,310,228	0	0	△ 6,310,228
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
受取寄付金	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
受取寄付金振替額	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
経常外収益計	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
(2) 経常外費用							
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
当期一般正味財産増減額	△ 5,922,107	△ 2,339,921	1,991,800	△ 6,270,228	0	0	△ 6,270,228
一般正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	227,509,836
一般正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	221,239,608
II 指定正味財産増減の部							
受取寄付金							
受取民間寄付金	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0	5,000,000
一般正味財産への振替額							
一般正味財産への振替額	△ 7,040,000	0	0	△ 7,040,000	0	0	△ 7,040,000
当期指定正味財産増減額	△ 2,040,000	0	0	△ 2,040,000	0	0	△ 2,040,000
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	151,761,808
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	149,721,808
III 正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	370,961,416

財 産 目 録

令和 4 (2022) 年 3 月 31 日現在

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	89,733
	預金	普通預金	運転資金として	
		福岡銀行八幡支店		4,325,567
		西日本シティ銀行八幡支店		322,515
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		5,614,773
		北九州銀行八幡支店		4,500
		佐賀銀行八幡支店		7,065
		福岡中央銀行黒崎支店		7,065
		郵公振替貯金		4,859
	未収金	北九州市	事業に供する未収分	2,011,900
	前払金	ボランティア活動保険	令和 4 年度分	17,500
流動資産合計				12,405,477
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	神奈川県第 31 回 20 年公募公債	定款で定めた基本財産であり、運用益を公益目的事業及び管理運用に充てるための資産である。 公益目的保有財産 90% 90,000,000 円 収益事業・管理活動財産 10% 10,000,000 円	100,000,000
		第 152 回利付国債	定款で定めた基本財産であり、公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に充てることとしている。	50,000,000
		福岡市平成 28 年度第 6 回公募公債		100,000,000
		第 160 回利付国債		50,000,000
特定資産	留学生等支援資金	定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた用途（留学生に対する支援）を目的に積み立てている資産である。	
	積立資産	福岡ひびき信用金庫本店営業部		7,500,000
		佐賀銀行八幡支店		9,500,000
		福岡中央銀行黒崎支店		9,500,000
		北九州銀行八幡支店		9,000,000
		普通預金		
		福岡銀行八幡支店		2,881,808
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		40,000
	外国人材活躍支援	定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた用途（外国人に対する支援）を目的に積み立てている資産である。	
	資金積立資産	福岡銀行黒崎支店		10,000,000
		普通預金		
		福岡銀行黒崎支店		1,300,000
その他固定資産	車両運搬具	スバル軽自動車 1 台	公益目的保有財産である。	1
資産	什器備品	ノートパソコン 6 台他	公益目的保有財産 1,568,446 円 管理活動財産 42,776 円	1,611,222
	投資有価証券	神奈川県第 31 回 20 年公募公債他	打歩発行により取得した金利未償却残高及び期末時点における時価評価損益である。	13,374,200
固定資産合計				364,707,231
資産合計				377,112,708
(流動負債)				
	未払金	北九州市他	事業に供する経費未払分	5,586,832
	預り金	社会保険料他 2 件	令和 3 年度分	564,460
流動負債合計				6,151,292
負債合計				6,151,292
正味財産合計				370,961,416

令和3(2021)年度 財務諸表に対する注記

この財務諸表は、公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）及び同実務指針（平成28年3月22日 平成28年12月22日改正 日本公認会計士協会）に準拠して作成している。なお、会計区分は移行認定に係る行政庁からの決定処分にもとづいている。

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券のうち時価のあるものについては、期末日の市場価格等にもとづく時価法（売却原価は移動平均法により算定）により行っている。なお、その他有価証券に係る評価損益は、当年度における損益として処理している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	300,000,000	0	0	300,000,000
小計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産				
※1	41,761,808	0	3,340,000	38,421,808
※2	10,000,000	5,000,000	3,700,000	11,300,000
小計	51,761,808	5,000,000	7,040,000	49,721,808
合計	351,761,808	5,000,000	7,040,000	349,721,808

※1 留学生等支援資金積立資産

※2 外国人材活躍支援資金積立資産

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	300,000,000	(100,000,000)	(200,000,000)	—
小計	300,000,000	(100,000,000)	(200,000,000)	—
特定資産				
※1	38,421,808	(38,421,808)	(0)	(0)
※2	11,300,000	(11,300,000)	(0)	(0)
小計	49,721,808	(49,721,808)	(0)	(0)
合計	349,721,808	(149,721,808)	(200,000,000)	(0)

※1 同上

※2 同上

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
車両運搬具	977,855	977,854	1
什器備品	3,446,464	1,835,242	1,611,222
合計	4,424,319	2,813,096	1,611,223

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
事業補助金	北九州市	0	61,118,000	61,118,000	0
※1	※1	0	9,000,000	9,000,000	0
※2	※2	0	150,000	150,000	0
※3	※3	0	100,000	100,000	0
合計		0	70,368,000	70,368,000	0

※1 文化芸術振興費補助金 (地域日本語教育) 文化庁

※2 おしゃべり発表会助成金 公益財団法人西日本国際財団

※3 地域国際化協会連絡協議会研修助成金 一般財団法人自治体国際化協会

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
事業実施による指定解除額	7,000,000
経常外収益への振替額	
事業実施による指定解除額	40,000
合計	7,040,000

令和 3（2021）年度附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載するため、内容の記載を省略する。

2 引当金の明細

該当なし。